

担い手育成塾が開講

# 稼げる農業学びたい

三条

稼げる農業経営のノウハウを学ぶ三条市の農業担い手育成塾が先週、開講した。20〜30代の若手農家9人が来年3月まで、マーケティング会社の経営者による販売戦略や営業戦略の指導を受ける。農家の減少や農業所得が低迷を続ける中、新たな発想で所得アップを目指す。

平成25年度  
『農業担い手』



## 若手農家9人が受講 販売・営業ノウハウ取得へ

講義には、水稲や果樹、酪農などを手掛ける農家  
が出席した。

農家になって間もない人もおり「販売ノウハウを身に付けたい」などと意気込みを語った。塾生で三条市貝喰新田の横山聖さん(25)は「これから高売の力も必要。自分の農産物が目立つような見せ方を実践したい」と話した。

市内では、農家の数が約10年前から3割減少し、約2800戸になっている。市は育成塾を2013年度から3年計画で取り組む「第2次農業活性化プラン」の目玉事業に位置付ける。海外販路の開拓などと合わせ、農業で生計を立てられる専業農家の数を現状の2割増の400人にすることを目指す。

全14回の育成塾は少人数制で、講義の半分は互いに助言し合うセミナー形式で行い、来年3月には、成果発表会も予定する。

担い手育成塾の第1回の講義は20日、三条市

20日に開かれた初回の